

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○7月13日～

あまり大きな動きがなく、停滞気味のマーケットです。

コロナ感染者は世界的に増え続け、まだ収束のメドがたっていない状況です。ワクチンや薬の開発のニュースが出ると一時的に株価が上昇するような動きも見られますが上昇が長く続きません。ナスダックは強い動きを見せていますがNYダウは上値が重くなっています。大きな材料がなければ、このまま夏枯れ相場に突入する可能性もありそうです。

<ドル/円>

ドル/円は106円台まで下げてきました。

106円台を維持できれば106-108円程度のレンジが続きそうです。

106円割れとなるとリスク回避の動きが強まりそうです。

<気になるクロス円>

クロス円もあまり動きがありません。

6月下旬の安値から上昇してきたペアも多く、この上昇が崩れてきそうにも見えるので安値更新の動きには注意したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀金融政策決定会合、日銀展望レポート、黒田・日銀総裁定例会見などがあります。

米国では6月消費者物価指数、7月ニューヨーク連銀製造業景気指数、6月鉱工業生産、米地区連銀経済報告（ページブック）、6月小売売上高、7月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、前週分新規失業保険申請件数、5月対米証券投資、6月住宅着工件数、7月ミシガン大学消費者態度指数などが発表されます。

欧州では、ドイツとユーロ圏で6月消費者物価指数、7月ZEW景況感調査、ユーロ圏で5月鉱工業生産、ECB政策金利、ラガルド・ECB総裁定例会見などがあります。

ほかには、カナダで政策金利、中国で4-6月期GDPの発表などがあります。